



☆会長あいさつ☆

新年あけましておめでとうございます。

保護者の皆様には、日頃よりPTA活動にご理解とご協力のおかげで、昨年も大きな問題もなく、生徒たちも元気に楽しい学校生活を送れたことと思います。

早いもので、3学期が始まったばかりですが、年度末まではあと残り2か月少しくなりました。3年生は高校受験を控え、保護者の方々においても不安や心配が絶えない時期だと思えます。3年生の生徒全員が希望の進路につけること、この中学校から無事に巣立つことを願っています。また、2年生及び1年生も、進級すると共に、心身ともまさに成長期です。いろいろな壁にぶつかることもあるかと思いますが、健やかな成長を遂げてほしいと願っています。

今年は平成という時代から新元号に変わる日本の歴史的にも節目の年になります。新しい年を迎え、新たな気持ちで、子供たちのために地域や学校との協力関係を密にして、しっかりとPTA活動を展開していきたいと思えます。今年も引き続き、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

☆校長先生のお話☆

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

3学期が始まりました。始業式の日には、3学期は1、2学期のように大きな行事はなく、部活動においても目標にするような重要な公式戦はないかもしれませんが、腰を落ち着けて勉強に取り組み、しっかりと自分の力を蓄えていく充電期間であるという話を生徒たちにさせていただきました。次の学年への進級まであと3か月。4月によいスタートが切れるように準備を進めていくようご家庭でもご指導いただければ幸いです。

また、間もなくPTA運営委員の改選の時期を迎えます。運営委員の方々を中心となって準備をしてくださいます。PTAの会員の皆様方におかれましては、選出作業が円滑に進みますように、ご協力よろしくお願いいたします。

☆主な行事予定☆



1/21(月)～24(木) 3年個別保護者会

1/31(木) 新入生入学説明会

2/ 8(金) 1、2年実力テスト

2/25(月)～27(水) 学年末テスト

3/ 8(金) 卒業式

3/13(水) 2年生校外学習(大阪方面)

3/25(月) 終了式

☆各学年の様子☆

【1年生】 始業式には、そろって元気な姿が見られました。2019年もどうぞよろしくお願いいたします。生徒会執行部も57期がスタートし、40回生2名も書記として生徒会運営に携わっていきます。短い3学期となりますが、「2年生への準備の学期」となるよう、40回生一丸となって頑張っていきたいと思います。

【2年生】 3学期が始まりました。57期生徒会も始まり、学校の中心として活躍し始めました。生徒会役員だけでなく、39回生全員が最高学年になる準備の学期として過ごしていけるよう日々の生活を大事にする学期にしたいと考えています。地域・家庭と連携していきながらより成長していけるよう努めてまいりますので、本年もご協力よろしくお願いいたします。

【3年生】 いよいよ中学校最後の学期となりました。冬休みの学習会には1日あたり平均38名の生徒が参加しました。それぞれが目指す進路に向けて、精一杯力を尽くしてほしいと思います。また、周囲の人への感謝や思いやりの気持ちを欠かさない38回生であってほしいとも思います。寒い日が続く、体調がすぐれない人も増えています。ご家庭でも健康に留意してくださいませようお願いします。

専門部からの報告

- 【文化部】** ひとり一役運動の豚汁作りにご協力いただき、ありがとうございました。
1月31日(木) 新入生入学説明会当日、制服リユースを行います。
場所：東校舎1階会議室(1家庭1点とさせていただきます)
在庫が少なくなっていますので、提供していただける物があればご協力お願いします。
随時、受付BOXを玄関に設置しております。
- 【愛護部】** いつも「神戸っ子応援団・朝の挨拶運動」に多数ご参加いただきありがとうございます。
今年度は2/1(金)、3/1(金)朝8:00からの2回となりました。事前に申し込みをされていない方でも、お時間ございましたらご参加よろしく願いいたします。
- 【学級委員】** 花一輪に参加していただく方の集計が終わりました。

◆◆◆2019年度PTA役員選考について◆◆◆

1月12日(土)第1回選考委員会を開催し、選考委員により開票を行いました。その結果、高得票の方には、1月19日(土)第2回選考委員会に来ていただき、話し合いにより役職を内定します。

専門部委員長(学年委員長、愛護部委員長、文化部委員長)は学級委員決定後、話し合いにより互選しますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、今回の投票用紙の回収率は87.9%でした。保護者の皆様、先生方のご協力に感謝します。ありがとうございました。

次回運営委員会 2月5日(火) 17:00～

校長の独り言

校長 堀口和則

「1. 17」

24年前のあの1. 17の日のことは今でも忘れることができません。私は自宅の1階の和室で6歳の長女と家内は3歳の二女と同じふとんで4人並んで寝ていました。午前5時46分。地面を突き上げるような衝撃に私は本能的に隣で寝ている長女の身を守ろうと、四つん這いになって娘の体の上に覆いかぶさりました。隣で寝ていた家内もまたその隣に寝ている二女も守らなければならないとは思いましたが、ひとつの体で守れるのは長女一人が限界でした。家内は恐怖で泣きじゃくるばかりで、身動きできない状況でした。次の瞬間、道をひとつ隔てた向かいの家の方向から、女性の「助けて！」という絶叫が聞こえました。それまで私はトラックか何か自宅に突っ込んだのではないかと考えていましたが、その絶叫を聞き、同じような事態が向かいの家にも起きていることが分かり、地震が起きたのであろうことをようやく察知することができました。寒さと恐怖で震えるばかりでしたが、その女性の絶叫を無視することはできません。真っ暗で寝間着の上に羽織るものも靴下も見つけれないままふとんから出て、台所を通過して家の外に出ようと試みました。しかし、台所の床には割れた食器が散乱し、容易に戸口まで行くことができません。ようやくドアを開け、外へ出ることができましたが、そこには信じられない光景が待ち受けていました。私の家のガレージの屋根が落ち、買ったばかりの新車がペしゃんこになっていたのです。でも、もうその時には驚きの連続でそんなことはどうでもよいことのように思える気持ちになっていました。そんなことよりも「人の命を救わなければ。」と思い裸足のまま絶叫が聞こえた向かいの家の方へ走って行きました。あつたはずの2階建ての家は1本の柱も立っていない瓦礫の山と化していました。「大丈夫ですかぁ！」私はその崩れ落ちた家に向かって叫びました。でも、何の返事も返ってきません。二度、三度叫んでみましたが、結果は同じでした。

後で分かったことですが、そのとき亡くなったのはその絶叫した女性の息子さんでした。私の娘と同じ年頃のかわいい男の子でした。なぜ、あのとき私の「大丈夫ですかぁ！」という声に母親である女性が返事をしてくれなかったのかは未だに分かりません。息子さんの死を目の当たりにし、ショックで声も出せなかったのか、お母さんも気を失ってしまっていたのか。もし、私がかもっと叫び続けていたら何かが変わっていたかもしれないという気持ちも全くない訳ではありません。



1月17日が来る度に思い出す悔やまれる出来事です。

思春期のころに寄り添う7

「入試前はみんな不安です」

スクールカウンセラー 齊藤 誠一

3年生をお持ちの多くの保護者の方にとっては、入試を目前にし、不安な日々を過ごされていることと思います。今回は心理学の視点からの5つのアドバイスです。

実は、昨年9月に私も入試や資格試験としては36年ぶりに試験を受けました。まさかこの歳にして受験するとは思っていませんでしたが、一昨年9月に心理的支援に関わる初めての国家資格として「公認心理師」が誕生したため、多くのカウンセラーの方と同じく受験しました。幸い合格率80%に救われましたが、改めて受験勉強のあり方を学ぶことになりました。3年生の生徒さんには10月にもお話をしましたが、再度心理学の視点から受験までの作戦を5つだけ紹介します。他の学年の方にも参考になれば幸いです。なお、今回はお子さま向けの書き方をしています。

1. これまで勉強してこなかったことで絶望しない：絶望すればますます自己嫌悪に陥ってやる気が起きなくなります。今は悔やむよりこの状況からよくぞ受かったという奇跡を作ることをめざせばいいのです。あなたの力はゼロではありません。



2. 学力は試験の直前まで伸びる：受験前夜に勉強したことが出題される話を時々聞きますし、私自身も大学院受験で経験しました。心理学では「一番良く記憶されているものは、もっとも最近覚えたものである」と教えてくれています。あきらめずにやって損はないということです。

3. 不安に思ったことは今ここで解決する：どうしても後回しにしがちですが、手元にある教科書を見れば、うる覚えで不安だった公式だって、人名だってわかるはずです。これは大事な得点源です。

4. 本の1ページ目からやらない：まじめな方ほどはまりやすい落とし穴です。試験問題は教科書や参考書の目次順には作られていません。むしろ目をつぶって目次や索引を指さして、そこがどのくらいわかっているかを確認することの方が合理的です。不安なら3へ戻ればよいだけです。

5. 誤答を活かす：誤りを見るのは苦痛ですが、誤りは自分の学習状態を知る宝庫です。なぜ間違えたかを確認し、知識が足りなかったら教科書に戻ればよいし、うっかりミスであれば自分のミスの特徴を知ればよい訳です。これまでの受けた試験の誤答問題を解き直すだけでも力がつくはずですよ。



本日以降、1月は24日(13時まで)、25日(13時から)、31日、2月は毎週木曜日の10時~17時にご相談を承ります。事前予約は長井教頭先生(078-791-8444)に、当日予約はS C(090-8379-3709)にお願いします。